

カルガモ倶楽部

2号

事務局 〒638-0041 奈良県吉野郡下市町下市 882-6 Tel(Fax) 0747-52-0985 karugamo@oyasato.net

神様の「ご褒美」

川上美也子

日々は結構にお連れ通りいただきましてありがとうございます。

今年は暑くて長い夏でしたが、皆様お変わりございませんか。

私はこの夏に、おばあちゃんになりまして。娘たち二人が、揃って八月に出産しました。長女には男の子、一希(いつき)が、二女には女の子、妃代里(ひよ

り)が授かりました。

娘たちは二人共、近くに住まわっていますので、妊娠初期から胎児の写真やビデオを見せてくれ、生命の重さ、不思議さを、目で、心で、肌で、刻々としみじみと感じさせていただきました。

生まれてからも、赤ちゃんの表情や動きに、驚きと発見の連続です。

時々、家族の誰よりも悟ったような表情をし、しよっちゅう別の世界に行つては、そちらの世界と交信しているかのように

す。

ずっと笑うことがなかったおじいちゃん(夫)が、孫のおなら一つで、声を出して笑い、喜んでいきます。

赤ちゃんパワーは凄いです。

さて、人生うれしいことばかりとはいきません。

実を言いますと、未熟なカルガモの心はボロボロになっていました。(内容についてはいつか書けるカモしれません)カルガモの翼は折れそうでした。もういっぱいいっぱいでした。

ちょうど十月中旬、そう、この原稿を書いている今日のことです。大祭参拝で滞在させていただいた教会の朝づとめで、突然ひらめいたので、あわてて書き留めました。

「この道通つたら、御用の上にご褒美いただける！」

カルガモは今日から新しい一歩を踏み出します。

昨日までのカルガモの器で

はいっぱいいっぱいでも、今日からはちがいます。おちよこからコップ、コップからバケツとちまちま変えていたんじゃめんどくさい。思い切つてドーンと、器を大きくしました。

夕べこちらの奥さんが「器の話で、最後には海にしようという話を聞いた」と教えてくれました。

『それ、いただき！』
次にいっぱいいっぱいになったら、その時こそ一気に、「海」にしましょう。

よろこび感じる心をおちよこにして、苦しみ感じる心を海にしたなら、きつと、いつもしあわせが溢れていることでしょう。襲ってくる苦悩など、「へ」とも思わないで笑っていられることでしょう。

今朝浮かんた言葉に戻ります。
「いっぱいいっぱいに感じている今のこの道を、ゆとりいっぱいを通りましょう！先に、万人救いたいと思し召される神様の御用のお役に立てるご褒美が待っているぞ！」

フアイト！



一昨年の書作展のパフォーマンスで会場の皆様の前で書きました愛の周りの美しい模様は会場の方々の指紋です

書作展感想文

その一

①いつも障害をもろともしないで勇んで前向きに歩まれている川上さんの書には人の心打ち、いやが応でも勇ませられるものがあります。真似の出来ない努力、相手の魂をゆさぶるものがあり感動します。

②以前に「ありのまま講演会」を開催に当たっては当地迄御足労頂き大変お世話になりました。以後、家内の出直しという節をお見せ下さり、今になりあの講演会をさせて頂きタイムインが良し、最近もパワーアップさせて貰ってます。日本中、世界中の一人一人がもう少しパワーアップ出来たら陽気ぐらしに近づけるし、いろいろな事件も少なくなるだろうし、又、お世話になりたいし出来る事から小さな事からでも実行していきたいです。

③いつもながらカルガモお母さんの書とても勇気をもらいます。これからも私達に笑顔と元

気をもらいたいです。私の様に元氣な者が川上さんの書に涙が出そうになる位感動し、元気をもらいました。ありがとうございます。

④変わらぬ心で川上さん、いつも一歩一歩楽しんでお暮らしてすね。又、おつとめ総会で、お会いしたいですね。

⑤字の迫力がどれも凄くて感動しました。自分も書道やってたんですけど、こんな凄い字は絶対に書けないです。会えてよかったです。ありがとうございます。

⑥不自由な体で、ここまで人を感動させる力があふれ出せることが素晴らしいと思います。お体に気をつけて益々大勢の方々を励ましてあげてください。

⑦つまるところ、よろこび勇んで生きることを教えられました。

⑧自信で素晴らしい。力強い、あたたかい、言葉、文字、心を頂きありがとうございます。いつまでもお身体を大切に。ありがとうございます。

⑨すばらしい字でした。わたしも字がうまくなるといいです。あかあさんにまけんようにがんばります。とてもやさしくてかわいかったのじゃしんもとつてたのしかった。またあいたいです。

⑩素晴らしい迫力ある真心のこもった書を拝見し、力づけられました。どうぞいつまでも御活躍されますよう心よりお祈り申し上げます。

⑪ありがとうございます。感動で胸がいつばいです。

⑫ありがとうございます。私も勇気をもらいました。

⑬もう数年前、ここで個展があった時、「水」という字を見ました。それはまさしく、勢いよくはねる水そのものでした。それから動く言葉に会いに来ています。

⑭初めて作品を見させて頂きましたが、その躍動感溢れる一文字一文字に感動しました。文字とはこんなにもいきいきと描く



事が出来るのかと吃驚しました。この書展により、書の無限の可能性に気付かせて頂きました。有難う。

⑮まず一言、びっくりです。素晴らしい筆使い!! 力強さ、ご自身の全て表現される信仰心も一杯頂きたいものです。生きる糧を。

⑯心のすごさ、強さ生きて生かされています事とてもありがたいですね。たった一つのお日様お月様で人間動物植物が生かされているのってなぜか不思議です。心を澄み切らせる白と黒の勢い、胸に迫ってきます。ありがとうございます。どうか、生かされている事をお互いに感謝しまして明日からも進みます。涙と笑いと、幸せが大好きです。

平成23年書作展
5月25日～27日
ギャラリーおやさと
(天理本通り)

作品の貸し出し
いたします

カルガモ倶楽部では、今までに書いた作品を、少しでも多くの人にご覧いただこうと、川上美也子さんの了承を得て、依頼があれば一定期間、教会や教務支庁などに貸し出しをさせていただきますことになりました。

次の基準を満たせば貸し出しさせていただきます。

①貸し出しの依頼責任者、保管責任者は、倶楽部会員であること。

②作品の受け取りは、宅配便の場合は、着払いとすること。

③貸し出し中の作品が展示会で使用するときは、展示会場まで輸送して頂く。(元払いか着払いかは適宜検討) 代替作品は相談に応じます。

尚、作品は、カルガモ倶楽部公式HPなどを参照ください。軸、額、パネル等々、また大きさ等もありますので、まず事務局までご相談ください。